

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
第2回警備・消防専門委員会 次第

日時：令和3年2月10日（水）（書面開催）

1. 報告事項

（1）第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の開催延期
に伴う警備・消防業務スケジュールの変更等について

湖国の感動 未来へつなぐ



**第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会 警備・消防専門委員会委員**

(順不同)

選出区分	機関・団体名および役職名	氏名	委員区分
消防関係	滋賀県消防長会 会長	安井 達治	委員長
	彦根市消防本部警防課 課長	門西 吉則	委員
警察関係	滋賀県警察本部警備部 参事官	小川 亮	副委員長
	滋賀県警察本部生活安全部 参事官	中島 牧夫	委員
市町関係	彦根市スポーツ部 次長 (兼)国スポ・障スポ推進課長	荒木 城康	委員
県関係	滋賀県知事公室防災危機管理局 副局長	山添 みゆき	委員
	滋賀県文化スポーツ部スポーツ課 課長	辻 瞳弘	委員
	滋賀県健康医療福祉部障害福祉課 課長	酒見 浩	委員

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会

第2回警備・消防専門委員会

会議資料



湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の開催延期に伴う警備・消防業務スケジュールの変更等について

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、本県の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催年が1年延期となり、令和6年から令和7年となった。

(令和2年10月8日開催の（公財）日本スポーツ協会臨時理事会において内定)

- ・今般の開催延期を踏まえて、開催準備委員会においては、年次別の取り組み事項や全体スケジュールを定めた「開催準備総合計画」や両大会の業務分野別に取組スケジュール等の見直しを行っているところ。（開催準備総合計画の改正案は、別添①のとおり）

- ・警備・消防業務については、今後の新型コロナウイルス感染症対策に係る先催県の検討状況も踏まえ、今年度予定していた「警備・消防防災基本計画案」を次年度に作成予定とし、以降の業務スケジュールを1年後年送りとする。

これに伴い、変更後の警備・消防専門委員会における主な審議事項、スケジュール等については別添②のとおりとなる。

- ・今後、先催県の対応状況等の情報収集を行うとともに、次年度には、当専門委員会において、先催大会（R3・三重県）の視察結果報告等も併せて報告予定。

○当面の予定（年1回～2回程度開催）

- ・令和2年度（書面開催）　開催延期に伴うスケジュールの変更等について
- ・令和3年度　　「警備・消防防災基本計画案」の審議、先催大会の視察結果報告等
- ・令和4年度以降　「業務実施計画案（自主警備、消防防災、大規模災害・突発重大事案対策）」、「会場管理運営要綱案」の審議

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催準備総合計画改正(案)

行数	年 度	平成25年(2013年) 12年前 東京	平成26年(2014年) 11年前 長崎	平成27年(2015年) 10年前 和歌山	平成28年(2016年) 9年前 岩手	平成29年(2017年) 8年前 宮城	平成30年(2018年) 7年前 福井	令和元年(2019年) 6年前 茨城	令和2年(2020年) 5年前	令和3年(2021年) 4年前 三重	令和4年(2022年) 3年前 栃木	令和5年(2023年) 2年前 鹿児島	令和6年(2024年) 1年前 佐賀	令和7年(2025年) 開催年
1	国内の主なスポーツ大会		国体近畿ブロック大会 (滋賀県開催)	全国高校総体 (近畿ブロック開催)			ラグビーワールドカップ	国体近畿ブロック大会 (滋賀県開催)	東京オリンピック・パラリンピック	ワールドマスターズゲームズ2021関西				
2	開催手続	開催内々定				実施競技選定	県議会決議	開催内定	開催内定		開催決定・会期決定	国民スポーツ大会 リハーサル大会		全国障害者スポーツ 大会リハーサル大会
		開催要望書提出 (日体協・文科省へ)				中央競技団体正規視察					日本スポーツ協会 ・文科省総合視察84			全国代表者会議
							開催申請書提出(6月中)							
3	推進組織	国体準備委員会 総会常任委員会 専門委員会 (総務企画) (主会場選定) 特別委員会 (子ども・若者参画)	国体・全国障害者 スポーツ大会準備委員会 (広報・県民運動) (競技運営)	(全国障害者 スポーツ大会) (輸送・交通)				(宿泊・衛生)	(式典・会場) (警備・消防)		国民スポーツ大会 ・全国障害者スポーツ大会実行委員会			
4	市町組織								市町準備委員会(任意設置)	市町実行委員会				
5	全 体	開催基本方針 県・市町の業務分担・ 経費負担基本方針	開催準備総合計画 (第1次)	開催準備総合計画 (第2次)	開催基本構想 県・市町業務分担・経費負担細目	開催準備 総合計画(第3次)	開催準備 総合計画(第4次)							
6	会場地選定	会場地市町選定基本方針・基 準、主会場選定基準 主会場の選定			会場地選定(正式競技・特別競技) 会場地選定(公開競技)			会場地選定(デモンストレーションスポーツ)						
7	総務企画 (主会場選定)	競技施設基準(暫定)				競技施設基準	競技施設整備計画(第1次)	競技施設整備計画(第2次)	競技施設整備計画(第3次)	競技施設整備計画(第4次)	競技施設整備計画(第5次)	競技施設整備計画(第6次)		
8	情報通信										情報通信基本計画	情報通信システムの整備、関係機関調整等		
9	文化プログラム						文化プログラム基本方針	文化プログラム実施基本計画			文化プログラム実施要項	文化プログラム募集		
10	総合案内										総合案内実施計画			
11	行幸啓等										歓迎・接伴計画の策定、総合案内所等の整備等	行幸啓・御成り計画、警衛計画等		
12	広報・ 県民運動	広報	広報基本方針 広報基本計画 マスコットキャラクターの検討・選定	大会愛称、スローガン 募集・決定	開催内定イベント ダンス・イメージソング 決定					開催決定イベント		開催1年前イベント		
13	県民運動			県民運動基本方針 県民運動基本計画	県民運動 アクションプログラム			県民運動(花いっぱい運動、クリーンアップ運動等)の推進						
14	競技運営	競技運営	競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針 競技役員等養成基本計画 審判員・要資格運営員 養成計画	公開競技実施基本方針 競技運営基本方針 デモスポ実施基本方針 リハ大会開催基準要項 記録業務基本方針 記録業務基本計画				競技開催日程決定						
15	競技用具				競技用具整備基本方針 競技用具整備要項				競技用具整備					
16	宿泊・ 衛生	宿泊			宿泊基本方針 宿泊基本計画 宿泊基礎調査		配宿体制検討、宿泊施設充足対策要項等			宿泊料金調査 宿泊施設実態調査 宿泊要項 標準献立作成方針 標準献立表の作成、講習会の開催等				
17	衛生				医事衛生基本方針 医事衛生基本計画			医療救援、食品衛生対策、環境衛生対策、馬事衛生対策等の実施						
18	輸送・交通				輸送・交通基礎調査 輸送・交通基本方針 輸送・交通基本計画			輸送・交通総合調査 輸送・交通基本方針 輸送・交通基本計画			交通規制計画			
19	式典・会場						式典基本方針	式典基本構想		式典基本計画 式典実施計画 式典実施要項等				
20	警備・消防						警備・消防防災基本方針 警備・消防防災基本計画			業務実施計画(自主警備、消防防災、 大規模災害、突発重大事案対策) 会場管理運営要綱	警備計画書(自主警備、 交通警備)、防災計画書			
21	全国障害者スポーツ大会			会場地選定基本方針 障スポーツ大会開催に向けた課題の整理	オーブン競技実施基本方針 国スポーツとの一体的な開催に向けた構想の検討	会場地選定(オーブン競技)			競技役員等の養成、ボランティア募集・養成等				障スポーツ大会実施本部	
22	募金・協賛		募金推進要綱 募金推進計画			募金活動の推進			募金・協賛推進要綱 募金・協賛推進計画		募金・協賛活動の推進			
23	子ども・若者参画				子どもや若者(ジュニアユースチーム)による国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を含む県のスポーツ推進に関する調査研究等									
24	【参考】競技力向上(対策本部)		競技力向上基本計画 競技力向上対策本部		基本計画見直し		基本計画見直し							

※ 本計画は現時点でのものであり、今後、業務の進捗等により変更となる可能性があります。

警備・消防専門委員会の主な審議事項等およびスケジュールについて（変更後）

年 度	内 容	
令和元年 (6年前)	<p>●警備・消防防災基本方針</p> <p>警備・消防防災対策の基本的な考え方を定める。</p>	
令和2年 (5年前)	<ul style="list-style-type: none"> ・国スポ・障スポの開催延期に伴うスケジュール等の変更 ・警備・消防防災基本計画等の策定に向けた準備 	
令和3年 (4年前)	<p>●警備・消防防災基本計画</p> <p>県および会場地市町が実施する業務の基本的事項を定める。</p>	
	<p>県</p> <p>国スポ：開・閉会式</p> <p>障スポ：開・閉会式、競技会</p>	<p>会場地市町</p> <p>国スポ：競技会</p>
令和4年 (3年前)	<p>●開・閉会式等自主警備業務実施計画</p> <p>●開・閉会式等消防防災業務実施計画</p> <p>●開・閉会式等大規模災害・突発重大事案対策業務実施計画</p> <p>基本計画に基づき、各業務に関して必要な事項を定める。</p>	<p>●競技会場地自主警備業務実施計画</p> <p>●競技会場地消防防災業務実施計画</p> <p>●競技会場地大規模災害・突発重大事案対策業務実施計画</p>
令和5年 (2年前)	<p>↓</p> <p>令和5年度継続審議</p> <p>●会場管理運営要綱</p> <p>入場者等が遵守すべき事項を定める。</p>	
令和6年 (1年前)	<p>●開・閉会式等警備計画書（自主警備・交通警備）</p> <p>●開・閉会式会場防災計画書</p> <p>県が実施する自主警備、交通警備および防災対策に関する計画書を作成する（業務委託）。</p>	
令和7年 (開催年)	<p>●業務マニュアル</p>	

○現時点における新型コロナウイルス感染症対策の例

1. 「国民体育大会開催における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針」 (公財)日本スポーツ協会、令和2年10月15日・第1版)

- ・(公財)日本スポーツ協会において、コロナ禍での国民体育大会開催に際し、感染リスクへの対策等について、一定の考え方を取りまとめられたもの。

その中では、国体の開催にあたっての感染予防対策の基本として、「手指衛生の励行」、「競技およびウォームアップ実施時以外、常時マスクの着用」、「ソーシャルディスタンスの確保」、「3密の回避」、「毎日の健康と行動の記録（体調管理チェックシート）の事前提出」、「大声での会話・応援の自粛」、「選手、関係者、観客などのゾーニング確保」などが記載されている。

2. 「三重とこわか国体競技会における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」 (三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会、令和2年11月19日・第1版)

- ・本年開催予定の三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会において、国体の競技会開催に向けて、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑え、安全・安心な競技会運営とする目的として作成されたもの。

その中では、「各主体の役割分担（県・市町実行委員会、競技団体、選手団が実施する対策）」、「競技会の参加者が遵守すべき事項（参加者の健康状態の管理方法等）」、「会場の受付、観客席、おもてなし等における対策（手指消毒剤の設置、三密を避けるための対策等）」、「宿泊・輸送に係る業界ガイドラインに基づいた対策」などが記載されている。

3. 競技会における感染症対策の例 「第57回全日本トランポリン競技選手権大会（三重国体のトランポリン競技のリハーサル大会*＜開催日 R2.10.31、11.1、場所：四日市市総合体育館＞）」

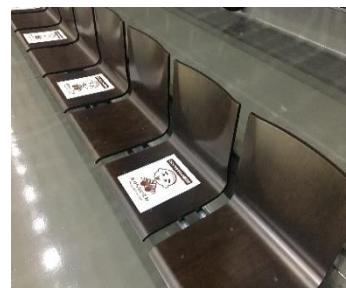
- ・一般観覧者は当該会場地の市民のみとし、各日150名程度に限定（総観覧席は3,000席）
- ・一般観覧者には、大会2週間前から観覧当日までの健康管理表の記入を依頼
- ・受付時にサーモグラフィによる検温、手指消毒液による消毒を実施
- ・座席を1席ごと空けて座り、ソーシャルディスタンスを確保
- ・大声での応援等を行わないよう要請し、拍手等による応援を周知
- ・選手・監督等の競技関係者と一般観覧者の動線を区分
- ・報道関係者の立ち入れる撮影エリアを限定



＜検温装置（サーモグラフィー）＞



＜消毒液＞



＜座席間の確保＞

※概ね国体開催時までの間に、主に本大会時の競技会運営能力向上を図ることを目的として、競技ごとに、全国大会やブロック大会などを国体のリハーサル大会として位置づけて開催されているもの。

*上記のガイドライン等は、現時点における対策例である。本県の両大会は令和7年の開催となるため、これらのガイドラインや先催県の対応状況、今後の感染状況等も踏まえ、本県の式典等の規模に合わせて、安全・安心な開催ができるよう、開催時において適切な対策を検討していくこととなる。